



第17回日本医学会総会および分科会の宿泊予約申込要項決まる

4万人の参加が予定される第17回日本医学会総会ならびに各分科会の宿舎につきましては、かねてより十分に意を払い、検討を重ねてまいりました。その結果、宿泊関係事務については、関係各機関協力のもとに、日本交通公社に一括委託し、同社内に総会宿舎事務局を設置することにいたしました。したがって宿舎予約はすべて同事務局を通じて行なわれることになり、その予約申込要領が下記の如く決定されましたのでご報告いたします。

■ 総会および分科会 宿泊予約申込要項

申込期間・昭和41年7月1日→昭和42年1月31日

申込方法・宿泊予約申込書に必要事項をご記入のうえ、1名1泊につき1,000円あての予約金（郵便振込）を添えて、下記までお申込みください。

- ・宿泊予約申込書は、各大学の医学部各教室、各研究所、各都道府県の医師会にございます。
- ・宿泊予約申込書をいただき次第、予約金領収書に宿泊先名を明記して送付いたします。
- ・予約金は宿泊料金から差し引き精算いたしますので、予約金領収書は必ずご持参ください。
- ・お申込みはお早めに、できるだけ2人以上のグループでお願いします。お申込みが遅くなりますと、名古屋市の近郊の旅館となることがあります。
- ・総会前後の各分科会の宿泊も含めてお申込みください。
- ・お申込みの変更、取消しは直ちにご通知ください。
- ・昭和42年2月末日までにお取消しの場合、予約金の全額をお返しいたしますが、その後はお返しいたしかねますのでご了承ください。

申込場所・名古屋市中村区広井町2の54 交通ビル内
日本交通公社中部支社
第17回日本医学会総会宿泊事務局
電話 名古屋(052)―(571)1461

宿泊料金・（税・サービス料別）

・旅館（1泊2食付）

A：3,000円 B：2,500円 C：2,000円
D：1,500円 E：1,200円

・ホテル（一泊食事なし）

シングル

F：2,500円以上 G：2,000円
H：1,500円

ツイン

I：4,500円以上 J：4,000円
K：3,500円 L：3,000円

- ・ホテルの場合は料金に多少の上下があります。
- ・旅館は各級とも原則として2～3帖に1名の割合の料金です。
- ・ご同伴その他やむを得ない特殊事由で部屋を専有される場合は3～5割の割増になります。
- ・ホテルは収容力が限られておりますので、満員の場合は旅館に変更させていただきます。

昭和41年7月

第17回日本医学会総会 準備委員会

第17回日本医学会総会 学術講演日程

日 時	4月1日 (土)	4月2日 (日)	4月3日 (月)
9:00 ～ 12:00	開 会 式 (9:30～12:00) 第一部 奏 楽 第二部 式 典 第三部 開会講演	◎ 小児外科 22. 脳浮腫 新大 植木 ◎ 脳神経(1) 42. 小児外科 日大 若林 ◎ 脳神経(2) 54. 人間工学 東大大島(正) ② 生体の微細構造と機能との関連 名大山田(和) ④ 筋の興奮と収縮機構 慈大 名取 ⑥ 微生物の構造と機能 鳥大 高木 ⑧ ウイルス粒子と増殖 京大 東 ⑬ 膠原病の発症機構 東医大 大高 ⑮ 癌化学療法の問題点 ガン研 吉田 ⑲ 心不全の成因 東大小林(太) ⑳ 神経化学 慶大 塚田 ㉑ 慢性胃炎 名市大 岸川 ㉒ 慢性肝炎 関大 小坂 ④① 副腎皮質ホルモンの臨床 阪大 西川 ④⑤ 出血性素因の基礎と臨床 京大 脇坂 ④⑦ 予防接種の検討 公衆衛生院染谷 ⑤① リハビリテーション 東大大島(良) ⑤① 先天異常の成因 名大 村上 ⑤④ 老年者における代謝 東大 吉川 ⑥① アイソトープの診断的応用 九大 入江 ㉗ 大気汚染と呼吸器疾患 公衆衛生院齊藤 ㉘ 小児の心身発達に関する追跡研究 名大(名)中江	⑩ 免疫化学 阪大 天野 ⑪ 自己免疫並びに自己免疫疾患 東大 進藤 ⑭ 癌の集団検診 ガン研 黒川 ⑰ 早期胃癌 南大 佐藤 ㉑ 動脈硬化症の成因と治療 金大 村上 ㉓ 心筋の興奮性(細動をめぐって) 東大 松田 ㉔ ミオパチーとその遺伝 東大(名)沖中 ③① 脳性麻痺 整肢療養園小池 ③① 睡眠 東大 時実 ㉔ 肝硬変 慈大 高橋 ④③ 非定型抗酸菌症(細菌学、疫学と臨床) 名大 岡田 ④⑥ 腎不全 日大 大島 ⑤⑦ プラスミン及び抗プラスミン 神大 岡本 ⑤③ 先天性代謝異常 京大 早石 ⑤③ ビタミン療法の問題点(特にB ₂ 療法) 東北大 荒川 ⑥③ 酵素学的診断法 東医大 島蘭 ⑥④ 形成手術における最近の進歩 東京警察病院大森 ⑥⑤ 農業中毒 東備大 上田 ⑥⑥ 交通災害の諸問題 名大 古田 ⑦① 性腺及び胎盤の内分泌 名大 石塚 ⑧① 健康の医学 東大 勝沼
13:00 ～ 14:00	◎ 内分泌 ◎ 放射線 ◎ 循環器(1) ◎ 無菌 ◎ 宇宙医学 2. 生体内情報処理機構 東医備大勝木 3. 皮膚圧反射 名大 高木 7. 白血病 名大 日比野 10. 癌の免疫 北大(名)武田 11. 小児悪性腫瘍 東大 高津 12. 口腔腫瘍 愛知学院大増田 16. 心臓外科の適応及び手術遠隔成績 東医大榊原 17. 末梢血管疾患 名大 橋本	◎ 癌(2) ◎ アレルギー・免疫 ◎ 組織化学 ◎ ウイルス 5. 真菌の感染機序 東大 岩田 8. 肺癌の放射線治療 京府大 金田 18. 心不全の治療 久大 木村 21. 精神身体医学の現況 九大 池見 23. 精神分裂病研究の現況 東大(前)秋元 24. 膝障害 名大 青山 26. 治療効果評価のための方法論(結核症を中心として) 東大 京砂原 愛媛 愛 所	◎ 酵素(核酸) ◎ 循環器(2) ◎ 癌(1) 6. 網内系最近の諸問題 愛知ガンセンター赤崎 14. 肺循環障害 日大 宮本 15. 門脈圧亢進症 愛知ガンセンター今永 20. 日本人の脳卒中 九大 勝木 25. 内分泌の調節機構 京大(前)三宅 37. メラニン形成の諸問題 名大 加納 40. 超音波による診断 国立大阪病院吉田 45. 全身と眼(眼精疲労を中心として) 名市大 萩野

◎は外人講演予定 ○はシンポジウム 番号のみは総会講演 開会講演・外人講演の演者・演題はあって発表します。
なお、全体として内容に多少の変更があるかもしれません。最終決定は42年1月末の見込みです。

時	日	4月1日 (土)	4月2日 (日)	4月3日 (月)
13:00 ～ 14:00		19. 脳外科の現状 京大(名)荒木 28. 新しい血液型の知識 信大 野田 32. 抗生物質研究の歴史と将来 東大 梅沢 34. 人類の細胞遺伝学 北大 牧野 35. 電解質代謝 東大 吉利 41. 日本における麻酔の進歩 東大 山村 46. 伝音障害治療における諸問題 名大 後藤 50. 都市化に伴う衛生害虫の変遷と疾病の媒介 予研 朝比奈介	30. 小児期における感染に対する生体の非特異性防禦機構 京大(前)永井 31. 感染症の発病機序と免疫 慶大 牛場 36. ヒスタミンの遊離とその機構について 岡大 山崎 38. 糖尿病とビタミン 名大山田(弘) 43. 大動脈の外科 東大 木本 49. 日本における産業発展に伴う産業医学上の諸問題 労研 山口 51. 近親婚の遺伝的影響 京大(名)駒井 53. 骨系統疾患 九大 天児 55. 特発性食道拡張症の成因とその臨床像について 千大 佐藤	
14:00 ～ 17:00		33. 鉤虫の感染様式に関する研究 千大 柳沢 1. “らい”の電子顕微鏡的研究 京大 西占 ③ 気候と生体 京府大 吉村 ⑤ 酵素の医薬応用 阪大 山村 ⑦ “日本脳炎”ウイルス学、疫学と臨床 千大 川喜田 ⑫ 免疫血液学 東大 中尾 ⑯ 悪性腫瘍の細胞診 東大 太田 ⑰ 担癌生体の諸問題 国立ガンセンター 久留 ⑳ 冠不全 日医大 木村 ㉑ 弁膜症治療の問題点 札大 和田 ㉒ 血行動態の諸問題 ABC 西丸 ㉓ 痛みの基礎と臨床 京大 木村 ㉔ 下垂体ホルモン分泌因子 東大小林(隆) ㉕ 感染と炎症(常在微生物の役割を中心) 名大 宮川 ㉖ 遺伝生化学 阪大 吉川 ㉗ 小児の蛋白栄養 名大 古武 ㉘ 脂質代謝とその異常 神大 辻 ㉙ エレクトロニクスによる医学的情報処理 東医大 若林 ㉚ 脈管造影 阪大 立入 ㉛ 臓器組織移植 京府大(名)河村 ㉜ メマイの病態と治療 京大 森本 ㉝ 老化の機構 名大 田内	48. 日本人の寿命と遺伝 九大 安倍 ① 電子顕微鏡による組織化学 阪大 清水 ⑧ ウイルスの潜伏感染に関する諸問題 名大 松本 ⑯ 発癌 千大 滝沢 ㉒ 高血圧の成因 京大(名)前川 ㉓ 固縮と痙攣の発現機序と治療 北大 藤森 ㉔ 脳と作用アミノ酸 名市大 久田 ㉕ 精神薄弱の成因と対策 名市大 岸本 ㉖ 腸管吸収 京府大 増田 ㉗ 難治性胃潰瘍 東北大 山形 ㉘ 糖尿病の成因と臨床 虎の門病院 葛谷 ㉙ 呼吸機能障害 慶大 笹本 ㉚ グラム陰性桿菌感染症 名市大 柴田 ㉛ 微生物の遺伝 群大 三橋 ㉜ 放射線診療における患者被曝の問題点 名大 高橋 ㉝ 変形性関節症 信大 藤本 ㉞ 環境条件の許容度の問題 大阪市大堀内 ㉟ Iatrogenic Disorders 関東中央病院 美甘 ㊱ 輸血における諸問題 慶大 島田 ㊲ 新生児脳の特異性と障害 名市大 小川 ㊳ 胸腺の構造と機能 阪大 飯島	(14:00～15:00) 4. 酵素反応のメカニズム 名大 八木 9. 女性性器癌の診断と治療 岡大 橋本 13. 高血圧の診断と治療 東大 上田 27. 肺気腫 東北大 中村 29. 尿路結石 阪大 楠 39. 臨床検査機械の最近の進歩 東大 檜田 44. 角膜移植 阪大 水川 47. 日本における犯罪者の医学的研究と対策 東大(元)吉益 52. 脳卒中の臨床 慶大 相沢 56. 肝臓病理の問題点 東大 三宅 57. 癌の疫学 東北大 瀬木 閉会式 (15:20～16:30)

◎は外人講演予定 ○はシンポジウム 番号のみは総会講演 閉会講演・外人講演の演者・演題はあって発表します。
 なお、全体として内容に多少の変更があるかもしれません。最終決定は42年1月末の見込みです。